

開講年度	2023 年度		科目開講学部・学科		全学共通教育																											
授業科目名	フューチャーセンター入門 (Introduction to Future Center)																															
担当教員	益川浩一、大宮康一、塚本明日香、後藤誠一、伊藤浩二、二村玲衣																															
科目区分	教養科目		科目分類		岐阜学																											
対象学年	1 年生～	授業の形態	講義	単位数	2	履修コード	1ZGF440580	科目ナンバリング																								
開講学期・時間割・教室	前学期 月曜日 5 時限																															
備考 1																																
シラバス URL																																
授業概要	<p>この授業では、実践・グループワークを通して自発的な学びにより、自分たちで多様な人たちが集まる「対話の場」を作り上げることを目指す。</p> <p>フューチャーセンター (Future Center) とは、多様な人たちが集まり複雑化したテーマ (課題) について「未来志向」、「未来の価値の創造」といった視点から議論する「対話の場」のことを指す。</p> <p>授業は、座学とあわせてグループワーク (実践) を軸とした講義形式である。</p> <p>まず、フューチャーセンターに関する基本的な知識や手法、事例を学び基礎的な素養を習得し、多様な人たちが集う対話の場 (フューチャーセンター) を実践 (企画立案から実施) する。そして、地域など身近にある課題の抽出や解決に向けたフューチャーセンターの活用方法や有効性について理解を深め、地域を志向するための実践的な能力を身につける。</p>																															
到達目標	<p>①フューチャーセンターの基本的な知識や事例を学び、理解を深める。</p> <p>②「対話の場」としてのフューチャーセンターの活用方法や有効性について実践を通し理解を深める。</p> <p>③フューチャーセンターを自ら企画・立案し、実施するための能力を身につける。</p> <p>④フィードバックから課題、改善策を見出し、次回の実践を改善・向上させる能力を身につける。</p> <p>⑤対話やワークショップにおけるファシリテーション能力を身につける。</p>																															
授業計画と準備学習	<p>1. ガイダンス・フューチャーセンター (FC) とは / アイスブレイクをやってみよう</p> <p>2. ファシリテーションとは / ファシリテーターをやってみよう</p> <p>3. KJ 法とは / KJ 法を使ってフューチャーセンターをやってみよう</p> <p>4. フューチャーセンターの企画の立て方</p> <p>5. 実際のフューチャーセンター (大学・地域協学センター等主催) に参加する (日程は講義で提示する)</p> <p>6. フューチャーセンター (学内) の企画 / 課題・テーマの検討</p> <p>7. フューチャーセンター (学内) の企画 / 対話の内容の検討</p> <p>8. フューチャーセンター (学内) の企画 / 当日の流れの検討</p> <p>9. 1 回目フューチャーセンターの実施 (学内の参加者のみでも可)</p> <p>10. フューチャーセンターの振り返り</p> <p>11. フューチャーセンター (学外) の企画 / 課題・テーマの検討</p> <p>12. フューチャーセンター (学外) の企画 / 対話の内容の検討</p> <p>13. フューチャーセンター (学外) の企画 / 当日の流れの検討</p> <p>14. 2 回目フューチャーセンターの実施 (学外の参加者を必須とする)</p> <p>15. フューチャーセンターの振り返り・発表準備</p> <p>16. 活動発表</p>																															
授業の特色	●	討論やプレゼンテーションなど、学生による対話や発表					ゲストスピーカーの招聘																									
		フィールドワーク、インターシップ、ものづくり等の体験型学習	●				AIMS-Gifu を活用した授業と学習支援																									
	●	図書館やラーニングコモンズなど、教室以外の場所を活用					レポートの添削や提出物の返却																									
	●	その他 (主体的なグループ形成とグループワーク)																														
アクティブラーニングを促す取組																																
使用言語	使用言語					TA,SA 配置予定																										
TA,SA 配置予定	日本語	英語	その他	その他の場合の使用言語		TA	SA	その他																								
	●						●																									
基盤的能力専門的能力	<p>1. 基盤的能力に関する重点指導項目</p> <table><tr><td>進める力</td><td>●</td><td>計画力</td><td>●</td><td>実行力</td><td>●</td><td>管理力</td><td></td></tr><tr><td>伝える力</td><td>●</td><td>傾聴力</td><td>●</td><td>発信力</td><td>●</td><td>状況把握力</td><td></td></tr><tr><td>考える力</td><td>●</td><td>課題発見力</td><td>●</td><td>創造的思考力</td><td>●</td><td>論理的思考力</td><td></td></tr></table> <p>2. 専門的能力や資質・能力に関して、育成を意図する指導</p>								進める力	●	計画力	●	実行力	●	管理力		伝える力	●	傾聴力	●	発信力	●	状況把握力		考える力	●	課題発見力	●	創造的思考力	●	論理的思考力	
進める力	●	計画力	●	実行力	●	管理力																										
伝える力	●	傾聴力	●	発信力	●	状況把握力																										
考える力	●	課題発見力	●	創造的思考力	●	論理的思考力																										
授業時間外の学習	<p>①フューチャーセンターのテーマや地域の課題等に関する基本的な情報収集・調査を行う。</p> <p>②フューチャーセンター開催に際し事前に開催方法等について学習する。</p>																															
成績評価	①授業参加姿勢(20%)、②FC の理解・参加度(30%)、③グループ演習(30%)、④活動報告(20%)																															
到達度評価方法	①授業参加姿勢、②FC の理解・参加度、③グループ演習、④活動報告に基づき、「達成目標」に記述した「自ら FC を企画・立案・実施する」ための必要な知識・スキルの習得、および地域を志向する積極的な姿勢について達成度を評価する。																															
テキスト	No	書籍名		著者名	出版社		出版年	ISBN/ISSN																								
	1	『フューチャーセンターをつくろう』		野村恭彦	プレジデント社		2012																									
	2																															
	3																															
	(詳細)																															
参考文献	No	書籍名		著者名	出版社		出版年	ISBN/ISSN																								
	1																															
	2																															
	3																															
	(詳細)																															
備考	<p>この講義は、原則、すべて対面で行う。</p> <p>・講義内容 (フューチャーセンターへの参加、企画実施) によっては学外で行うこともある。</p> <p>・月曜日の 5 限を基本とするがフューチャーセンターへの参加や企画実施に応じて変則的に開講することもある。</p>																															